
涙とサヨナラ...。

パピオン

タテ書き小説ネット Byヒナプロジェクト

<http://pdfnovels.net/>

注意事項

このPDFファイルは「小説家になろう」で掲載中の小説を「タテ書き小説ネット」のシステムが自動的にPDF化させたものです。この小説の著作権は小説の作者にあります。そのため、作者または「小説家になろう」および「タテ書き小説ネット」を運営するヒナプロジェクトに無断でこのPDFファイル及び小説を、引用の範囲を超える形で転載、改変、再配布、販売することを一切禁止致します。小説の紹介や個人用途での印刷および保存はご自由にどうぞ。

【小説タイトル】

涙とサヨナラ…。

【Nコード】

N1330T

【作者名】

パピオン

【あらすじ】

「泣かないで」…そう言って涙を拭ってくれた君…
今はもういない、もしこの想いが届くなら
いますぐに、あの空に…

プロローグ

きつと、誰も知らなかった君…
ずっと、私だけが知ってる君…

今までで一番好きだっと思った。

優しく包んでくれた大きな手、少し低い声。
高い背、優しい笑顔、黒い髪、仕草や口癖、全部がすき。

何回言っても足りないくらい、大好きだよ？

誰よりも君を想ってるよ…ねえ？

なんで、もういないの？

もつと早く気付けばよかった…早く言えばよかった
今更おもっても、遅いのに伝えたい

届くことのない想いを叫びたい

あの空に…君に届きますように願いを

こめて…

ねえ…もう泣いてないよ？

私と君、

「美羽、なあ起きろって!!」

朝から私の名前を呼ぶ男…誰？

「お父さん？」

「はあ？起きろ馬鹿!!」

大きな声とともに、バシツといい音。
瞬間、おでこに痛みが走る、

「痛い!!、馬鹿…ううつ」

「あつ、おい!泣くなよ!美羽、」

「うえーん…」

「あー、ごめんって…」

子供のように泣く私に焦る男、幼馴染の日向です。
私たちは、家が隣同士で小さいころから一緒です。
日向、実は…

「ちゅーしたるから、泣き止め!」

「…んあ？」

私の彼氏でもあつてりします。
めっちゃ、大好きです!!

「泣き止んだ？」

「……ん、」
「よし。着替える？待ってるから」

PDF小説ネット発足にあたって

PDF小説ネット（現、タテ書き小説ネット）は2007年、ルビ対応の縦書き小説をインターネット上で配布するという目的の基、小説家になろうの子サイトとして誕生しました。ケータイ小説が流行し、最近では横書きの書籍も誕生しており、既存書籍の電子出版など一部を除きインターネット関連に横書きという考えが定着しようとしています。そんな中、誰もが簡単にPDF形式の小説を作成、公開できるようにしたのがこのPDF小説ネットです。インターネット発の縦書き小説を思う存分、堪能^{たんのう}してください。

この小説の詳細については以下のURLをご覧ください。
<http://ncode.syosetu.com/n1330t/>

涙とサヨナラ…。

2011年10月9日01時45分発行